

調査対象の「祭」

亀山市指定無形民俗文化財

せき やま
関の山車

調査日時：7月20日（土）13:30～14:30

※ 祇園祭の担い手への聞き取り調査と、迫力のある山車の曳きまわしを近くでみるすることができます。



<行事概要>

指定日：平成3年3月23日 実施日：7月下旬土・日曜
実施場所：亀山市関町木崎ほか

東海道関宿に江戸時代から伝わる祭礼で、当時は16基の山車が巡行し、横幕・見送幕・提灯を豪華に飾り付けて華美を競い合った。現在は大裏・三番町・四番町・木崎の4基が残っており、関神社の祇園祭として行われる。

三重県指定無形民俗文化財

うえきじんじゃ ぎおんまつり
植木神社の祇園祭

調査日時：7月28日（日）13:00～19:00

※ 祇園祭の担い手への聞き取り調査と、ダンジリを曳く等の一部体験調査もできます。



<行事概要>

指定日：昭和54年3月23日 実施日：7月最終土・日曜
実施場所：伊賀市平田

平田に鎮座する植木神社の祭礼で、本祭の巡行行列は「竹幣」、10基の大花、10基の母衣花（ホロバナ）からなる「祇園花」、2基の神輿、「楼車（だんじり）」と称する3基の曳山からなる。最後に花奪いもある。

明和町指定無形民俗文化財

おおよど ぎおんまつり
大淀の祇園祭

調査日時：8月3日（土）15:00～17:00

※ 祇園祭の担い手への聞き取り調査と、迫力のある山車の曳きまわしを近くでみるすることができます。



<行事概要>

指定日：昭和60年2月18日 実施日：旧暦の6月14日に近い土曜日

実施場所：明和町大淀

三世古・東区・山大淀の3地区から山車が出され、地区内を練り歩く。夕刻には2隻をつないだ漁船の上に、山車を乗せて大淀港に浮かべる海上渡御が行われる。夜には花火大会も行われ、仕掛花火の点火方法は、長年の間、秘伝となっている。

国 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財
国指定重要無形民俗文化財

あのり にんぎょうしばい
安乗の人形芝居

調査日時：8月4日（日）13:00～15:30

※ 人形芝居の演者への聞き取り調査と、喜怒哀楽の野趣に富んだ演劇を近くでみるすることができます。



<行事概要>

選択日：昭和53年1月31日 指定日：昭和55年1月28日
実施日：9月15・16日

実施場所：志摩市阿児町安乗

安乗神社の祭礼として、境内に建てられた専用の舞台において演じられる人形芝居で、「阿波の鳴門」・「御所桜堀川夜討」・「太功記」・「菅原伝授手習鑑」などの歌舞伎や人形浄瑠璃にみられる演目が伝わっている。新年には大漁祈願として式三番（三人遣いの人形芝居）を舞い納める。

三重県指定無形民俗文化財

ひがしひの にしひの だいねんぶつ 東日野・西日野の大念仏

調査日時：8月13日（火）15:00～20:00

※ 体力に自信のある男性は衣装を着て、行事に参加することもできます。事前にご相談ください。



<行事概要>

指定日：平成25年3月25日 実施日：8月13・15日

実施場所：四日市市東日野町・西日野町

大太鼓と大鉦を打ち鳴らし、13日は東日野の西覚寺から西の顕正寺へ、15日は西日野の日野神社から西覚寺へ練る。虎関師錬の魔障禁厭に由来し、路程の9打は九字名号、境内の10打は十字名号という浄土真宗の教えを太鼓・鉦で表わす。

<注意事項>

隊員のお住いの地域や日程の都合に合わせて、調査をする「祭」を選ぶことができます。

隊員の活動には、三重県教育委員会の職員の他、県内大学の大学生がサポートします。参加者特典も予定しています。

関連するイベント

- ☆ 事前説明会：7月6日（土）13:30～14:30
三重県庁7階 教育委員室
（オンライン会議も併用します）
 - ☆ 調査後ワークショップ：8月24日（土）13:00～16:00
三重県総合文化センター中研修室
（オンライン開催も併用します）
 - ★ 「みえ祭会議」：10月6日（日）13:00～16:00
三重県総合文化センター視聴覚室
・県内の無形民俗文化財に関わる関係者が集う会議で、隊員が調査成果を発表します。
- ※ 詳細は、参加申し込みをいただいた隊員に後日改めてお話しします。

問い合わせ先：三重県教育委員会 社会教育・文化財保護課
電話：059-224-3328
メールアドレス：shabun@pref.mie.lg.jp